

産業界と若者の意見交換会  
核融合分野に携わる産業界への  
インタビュー集計結果発表

発行所  
核融合エネルギー  
フォーラム  
広報サブクラスター  
/ 産学連携推進  
サブクラスター

2024年  
1月23日  
(火曜日)

四年ぶりの本格開催！

産業界と若者の意見交換会二〇二三

核融合エネルギー  
フォーラム

(<https://www.fusion.qst.go.jp>)

[/fusion-energy-forum/index.html](https://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/index.html))



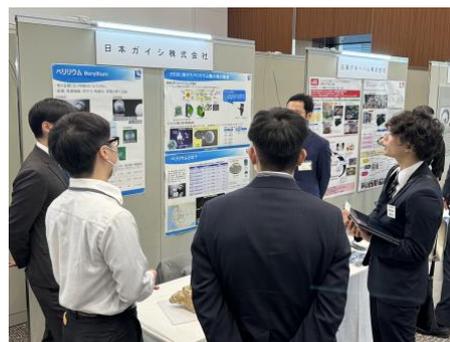
参加者全員での記念写真

二〇二四年一月十五日、核融合エネルギーフォーラムの主催によりITER/R/B A成果報告会二〇二三「フュージョンエネルギーが拓くサステナブルな未来」が開催された。それにあわせ、フォーラム内の委員会組織である広報サブクラスターと産学連携推進サブクラスターが合同で「産業界と若者の意見交換会二〇二三」を実施した。全国から大学院生二十一名が参加し、ITER/R/B A成果報告会会場に設けられた計二十四社の企業展示ブースに学生が訪問する形で意見交換会を実施した。意見交換会終了後、参加した学生に対してアンケートを実施した。ここでは、そのアンケート結果について簡単に報告する。

昨年度は新型コロナウイルス感染症のパンデミック発生以来三年ぶりの

現地開催が実現したが、会場の入場者数制限のため、本意見交換会の参加人数も限られた。今年に入場者数の制限も解かれ、四年ぶりの本格的な開催となり、活発な意見交換が行われた。今回は二十四社と出展企業数が非常に多かったが、今回の意見交換会を通じて初めて知った企業が約半数を占め、企業名を知ってはいいたものの核融合への貢献を知らなかった例も多かった。学生からは個別の技術に加え、今後の取り組みや将来の展望に関する質問が多くなされ、企業の長期的かつ現実的な取り組みの継続に対する期待が示された。ITER/R/B A成果報告会の講演も含め、幅広い企業がそれぞれの強みを活かしながら協力して核融合という大きなプロジェクトが進展していることに感銘を受けた、来年もまた参加したい、との声も複数あり、非常に有意義なイベントとなったようである。一方で参加学生どうしの交流などの要望もあり、来年度以降の企画に活かしたい。

最後に今回意見交換会に御協力下さった以下の会社に御礼申し上げる。(五十音順) 株式会社アライドマテリアル、株式会社 WELCON、株式会社化研、木村



意見交換会の様子

化工機株式会社、キャノン電子管デバイス株式会社、京都フュージョンアリアリング株式会社、金属技研株式会社、サエス・ゲッターズ・エス・ピー・エー、ジャパンスーパーコンピュータテクノロジ株式会社、助川電気工業株式会社、田中貴金属工業株式会社、帝国イオン株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社、東洋炭素株式会社、日揮グループ株式会社、日本ガイシ株式会社、日本電信電話株式会社、株式会社日立製作所、株式会社 Helical Fusion、宝栄工業株式会社、マイクロ波化学株式会社、三菱重工業株式会社、三菱電機株式会社、大和合金株式会社  
(文責：核融合研 釘持尚輝、アンケート実施：株式会社 Helical Fusion 後藤拓也)